

経営比較分析表（令和5年度決算）

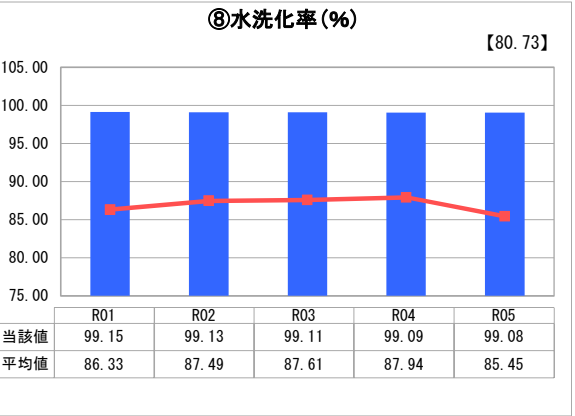
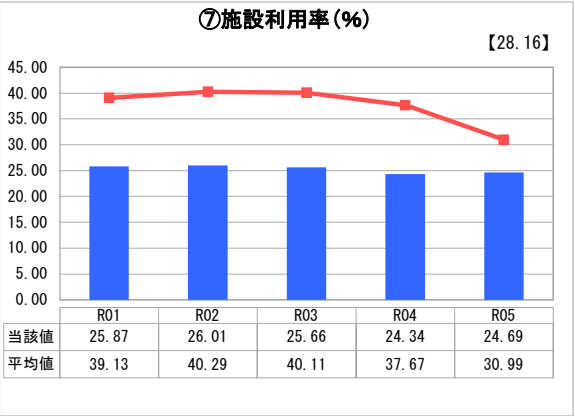
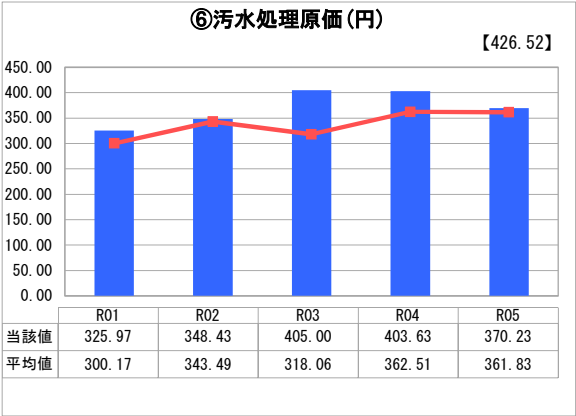
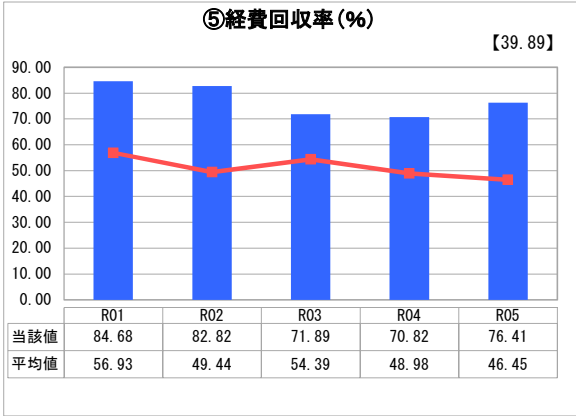
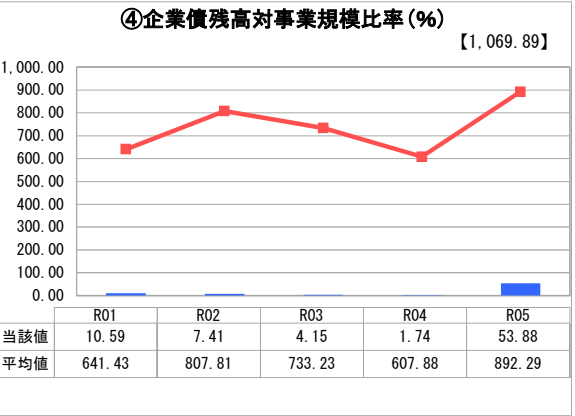
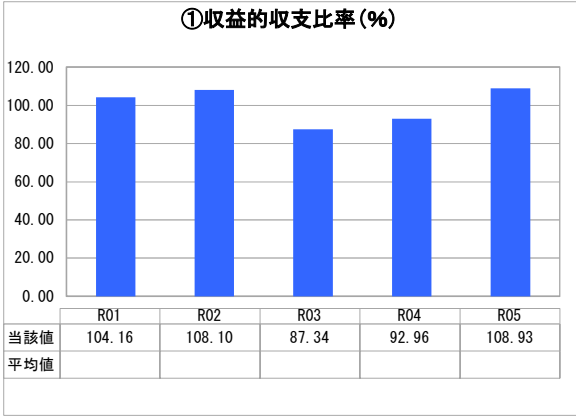
福井県 小浜市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.73	76.12	3,850

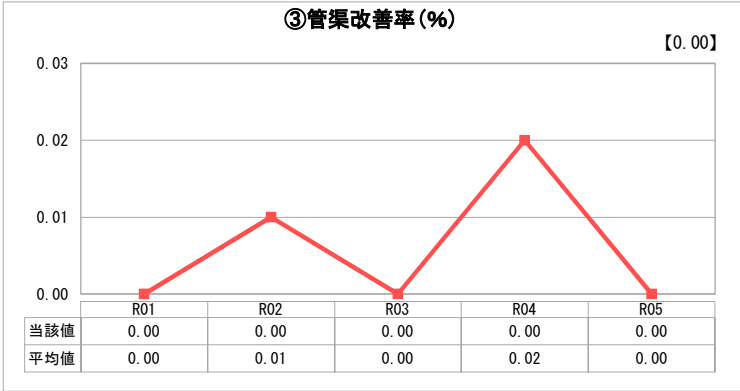
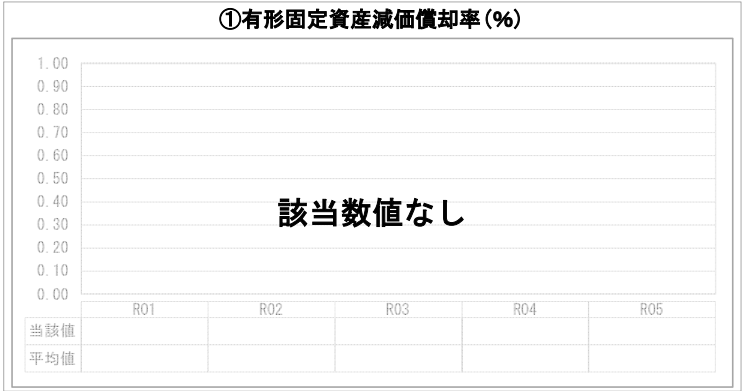
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,974	251.47	111.24
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
759	0.51	1,488.24

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度の企業会計移行に伴う打ち切り決算により、営業費用が減少したため、①収益的収支比率および⑤経費回収率は前年度比で上昇したが、使用料収入の減少や維持管理費の増加が見込まれ、引き続き厳しい経営見通しと考える。

④企業債残高対事業規模比率は、建設当初の起債の償還が完了しつつあるが、資本費平準化債の借入れを行ったことで前年度比で上昇している。

⑦施設利用率は他団体と比べても低い値となっている。人口減少や民宿利用者の減少等により処理水量は減少しており、さらに⑥汚水処理原価は他団体より高いことから、今後、処理能力の見直し等が必要となってくる。

⑧水洗化率は、建設と同時に水洗化していることから高い水準となっている。人口減少や節水意識の浸透により、使用水量は減少しており、使用料収入も減少している。現在、施設の老朽化及び物価高騰による維持管理費は増加傾向にあるため、住民人口や民宿利用者数の増加等が望めなり限り、厳しい経営状況が続くと考え。

2. 老朽化の状況について

老朽化した設備や機械類を必要に応じてその都度部分的に修繕行ってきたが、最も古い施設は平成元年から供用開始されており、老朽化による維持管理に係る経費は年々増加している。

今後、施設規模の再検討を行い、将来の汚水処理計画等について検討が必要である。

全体総括

維持管理費が使用料収入を上回っており、一般会計からの繰入金で収支を確保していることから、厳しい経営となっている。

施設利用率が低く、処理施設の老朽化も進んでいることから、ダウンサイジングといった抜本的な対策が必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。